

霞ヶ浦浄化センターにおける「高速吸着脱リン法」の実証試験結果の水処理技術委員会への報告について

標記の処理方法は、吸着剤を用いて下水中のリンを除去するもので、凝集剤の添加や生物学的に除去する方法とは異なる新たなリン除去の方法です。平成25年3月28日に日本下水道事業団が設ける有識者による外部技術評価委員会において処理方法の評価が実施され、国総研が事務局として水処理技術委員会への報告を完了いたしました。

国土交通省ではこれらの評価結果に基づき、当該処理方法は計画放流水質に適合した処理方法であると判断し、茨城県知事宛にその旨を通知しております。

今後、茨城県において事業計画の作成、実施の供用に向けた取り組みがなされていきます。

(報告完了日:平成25年5月27日)

平成25年度 水処理技術委員会 委員名簿(報告当時)

	氏名	所属
委員長	松尾 友矩	東洋大学常務理事
委員	池 道彦	大阪大学大学院 工学研究科 教授
〃	尾崎 正明	公益財団法人下水道新技術機構 研究第一部長
〃	川本 和昭	日本下水道事業団 技術開発審議役
〃	佐伯 謹吾	公益社団法人日本下水道協会 常務理事
〃	高橋 正宏	北海道大学大学院 工学研究院 教授
〃	長岡 裕	東京都市大学 工学部 都市工学科 教授
〃	味埜 俊	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授

(敬称略、委員50音順)

詳細については国土交通省HPに掲載された報道発表資料をご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000200.html